

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

記

1 会議名 令和5年度 岐阜県立土岐商業高等学校 第3回 学校運営協議会

2 開催日時 令和6年 1月 18日(木) 13:15～15:15

3 開催場所 岐阜県立土岐商業高等学校 会議室

4 参加者 学校運営協議会委員

竹下啓太	あいちビジネス専門学校 校長
水野隆夫	土岐市土岐口財産区 議長(欠席)
藤田裕子	藤田陶器株式会社 代表取締役
佐野栄子	土岐地区更生保護女性会 理事
青木茂久	東海旅客鉄道株式会社土岐市駅 駅長
荻曾千恵	土岐商業高等学校育友会 母親委員長

学校側

山内志文	校長
吉田孝夫	事務長
中澤正仁	教頭
寺澤喜孝	教務部長
近藤大貴	生徒指導部長
千葉かをり	進路指導部長
伊藤陽介	商業部長
松永紗弥	記録

5 会議の概要(司会)

- ・課題研究発表会参観(体育館)

(1) 校長の挨拶

- ・課題研究発表会の参観、ありがとうございました。
- ・課題研究ではそれぞれのコースが苦勞しながら作品や結果を残した。
- ・自分たちの力で課題を見つけ、考えることを大事に取り組んだ。
- ・年度末までまだ時間はあるが、具体的に本年度の取り組みを説明したい。

(2) 各分掌より令和5年度の成果と課題の発表

<教務部>

- ・出欠や学業の管理のためにアンケート実施
- ・ICTを活用した授業の理解度アンケート 85%目標にした(前年度78.1%)
 - 授業研究週間にてICTを活用した授業を公開
 - 理解度は上がっている。今後も継続したい。
- ・家庭学習の習慣と生徒と保護者の認識について
 - 学習時間調査の実施(定期考査ごとに)
 - 結果:勉強時間が長いほどテストの点数が高い
 - 家庭学習の重要性を再認識
- ・来年度に向けて
 - ICTを活用した職員の業務効率化を目指す(職員会議や欠席連絡等)

<生徒指導部>

◎生徒指導

- ・生徒が理解していても保護者が理解していないことが多い
 - HPで校則やいじめ対策について提示するもHPの存在を知らない保護者が多い。
- ・校則…個別で対応(時代に合わせて)

◎教育相談

- ・生徒が気軽に相談できる教育相談室が中心
- ・多様な時代(LGBTQ、いじめ、虐待など)であり、職員で協力しながら対応できた。

◎特別活動

- ・部活動と生徒会活動
- ・全国大会優勝者 女子バスケ県3位 サッカー一部県3位 商業系部活も全国へ
 - 継続して部活動に力を入れていきたい。
- ・生徒会活動を積極的に行う(体育館にて)
- ・伝統が受け継がれずにくる場合も多い(コロナ禍の影響) ←課題

<進路指導部>

- ・卒業後にもつながるキャリア教育

◎アンケートについて

- ①アンケート「進路情報の提供 生徒の可能性を引き出すことができているのか」の項目→肯定的な回答
外部の力を活用(ガイダンスや面接指導など)→最適なタイミングで実施できた 役に立った(生徒)
- ②アンケート「生徒の将来に沿った進路指導」の項目→分からないが多い今後改善していきたい。

◎基礎力の育成と学力の向上について

- 毎週小テスト(就職向けのテスト)…7割を目標(3年は達成)
- 小論文模試
- 外部模試…結果活用については課題(3者懇談等)→模試の活用方法や種類を検討
- 育友会総会等で情報提供したい。

<商業部>

- ・資格取得と地域連携

◎資格取得

- ・検定の結果:日商簿記1級、基本情など成果
- ・教科担だけではなく、商業科全体で取り組む(外部も利用)

◎地域連携

- ・各コースで地域連携を実施できた
- ・土岐商業が必要とされるような取り組みを行っていききたい
- ・来年度も継続して取り組んでいきたい
- ・例年以上に話し合いの場を設けた

(3) 委員の方々からのご感想・ご意見等

意見1 コロナの影響もあり、伝統を受け継ぐとはやはり難しい。
ピンチがチャンスに代わる。
時代に即した行事に変えるチャンス。
歴史を作ることは大変だがチャンス。
課題研究の発表はすごい取り組み 継続してほしい。

意見2 生徒が柔軟に努力していたのが分かった。
本年度、秋のオータムフェアで協力してもらったが、今後、英訳、インスタグラムの活用など、若い力を借りて活動していきたい。さらに秋の祭りが盛り上がる。

意見3 定演にとっても感動した。
研究発表会で発表していたアイスブレイクが素晴らしいと感じた。
→アイスブレイクの考え方を取り入れていきたい。

意見4 生徒がパソコンやスマホを理解して使っているのは素晴らしい。
ICTを使いこなせることが今後の武器になる。
→これからも継続的に学習してほしい。
AIなどが普及しているが、最終的には人が操作する→そのためにしっかり勉強してほしい。

意見5 全校の前で発表する力が備わっているのはすばらしい。
ICT活用能力は社会に出てからも非常に重要な力になってくるため、今後も継続して指導してほしい。
子どもが土岐商のOBだが、「さすが土岐商生」と言われた。今後も続けてほしい。

6 まとめ

- ・課題研究発表会に参加していただき、生徒の研究成果を見ていただいた。
- ・引き続き生徒の指導に力を入れていく。
- ・できる子とやりきれない子の差が激しいのが現状であるが、それぞれが目標をもって入学してきている。
全生徒が目標を達成できるよう、目標の少し上を目指していけるよう指導を行っていききたい。
- ・それぞれのご立場から、土岐商に関する印象と今後に期待されることなどを頂き、来年度に向けた学校運営に生かしていきたい。
- ・3回にわたる令和5年度学校運営協議会が無事に終了することが出来た。委員から頂いたご意見やご指導を踏まえて、令和6年度の学校運営に着手していきたい。